



エンディング  
終幕直前に

聖女悪役令嬢に  
度目の転生を果たしました



アナリー!



貴女に処置して  
もらえなかったら  
今頃腕がなかった  
って言われました



先日は  
ありがとうございました

あとひと月も  
すれば完治  
するそうです



やはり貴女の  
治療魔法は  
学園一だ



それは  
よかったです

また何かあれば  
いつでも  
来てくださいね

何がきっかけかは  
忘れたけど

気付いたら私は  
ゲームのキャラとして  
生きていた

この物語には  
二人のアナがいる

聖女アナリー

もう一人は  
公爵令嬢  
アナスタシア

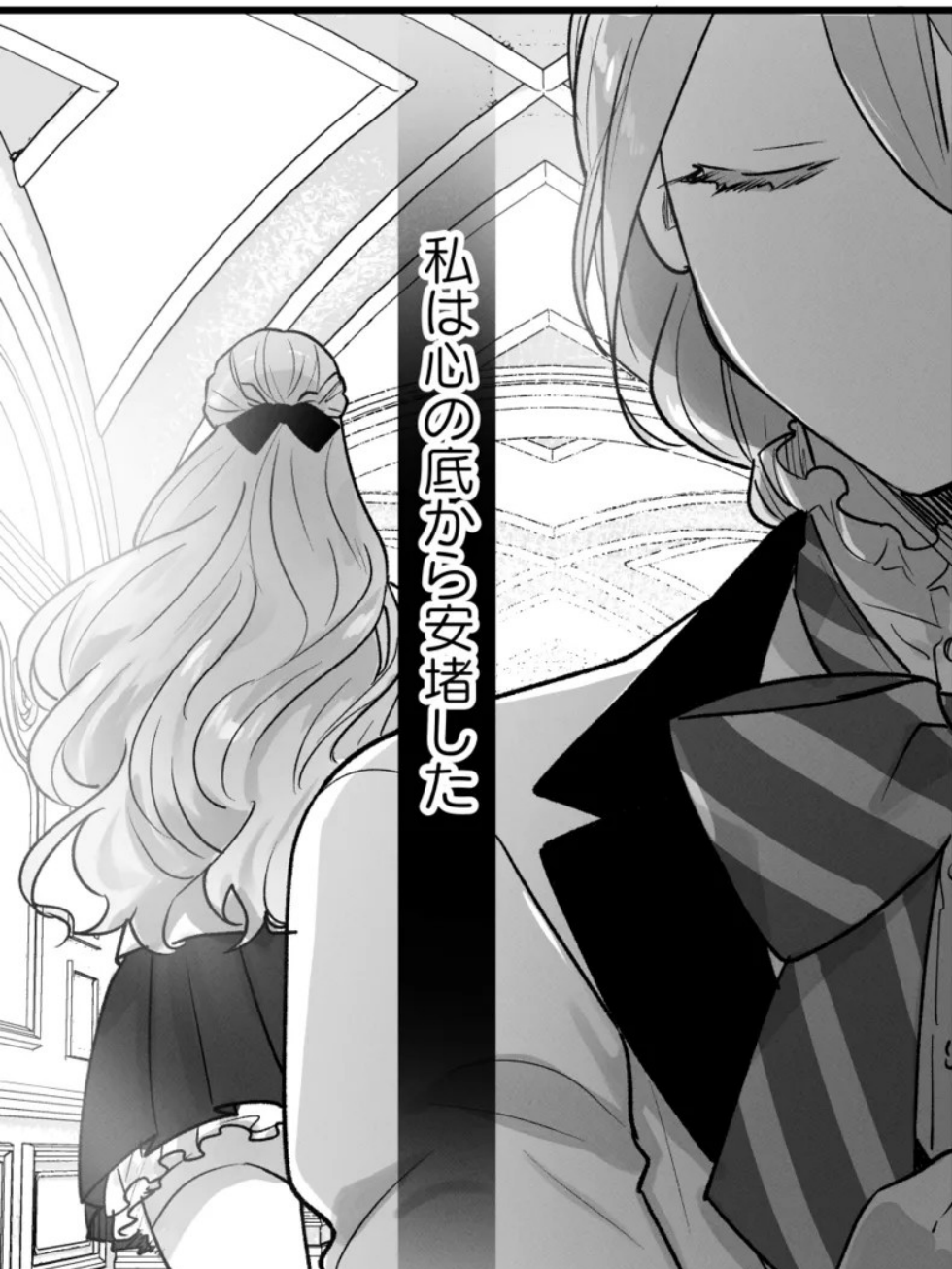
貧しい育ちだが  
人望があり心優しい  
主人公

人を貶める事を  
何とも思わない  
非道な性格で

彼女には  
どのルートでも  
バッドエンドしか  
用意されていない



生き別れの  
双子なのに  
対称的な二人



私は心の底から安堵した



この物語の結末を  
思い出した時



彼女にならなくて  
よかったと

10月22日  
私立エペスルツ学園  
学園祭3日目 夜

数々の試練を乗り越え  
今日はこのゲームの  
エンディング

シアンからの  
告白イベントだ

ゲームのキャラにな  
ったのを自覚してから  
ここまで長かったな…

時計塔に8時…  
まだシアンは  
来てないか

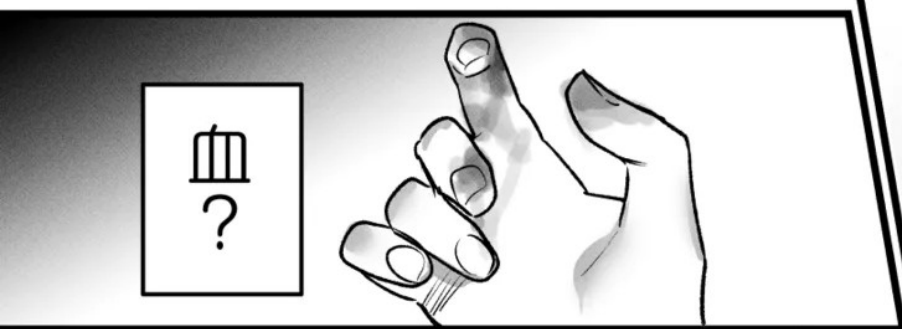
相変わらず前世事は何も  
思い出せないけど  
今ではもうアナリーで  
いることが私の人生

公爵家の娘だったのに  
生まれてすぐ盗賊に拐われて

そこから逃げ出して  
貧民街で暮らしていたところを  
優しいシスターに拾われた

それから修道院で  
シスターの手伝いをしながら  
実力で名門学園に入学

今日はアナリーの  
努力が報われる日





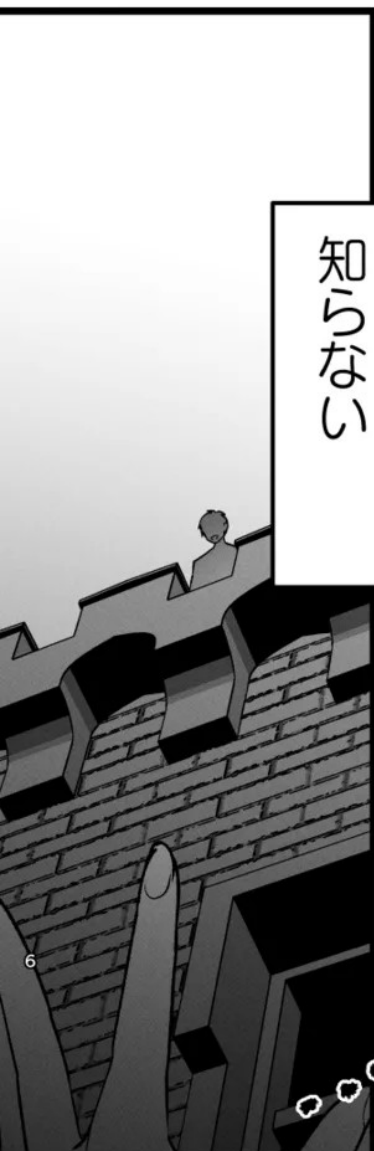
選択は間違えなかった  
はずなのに

誰  
あなた

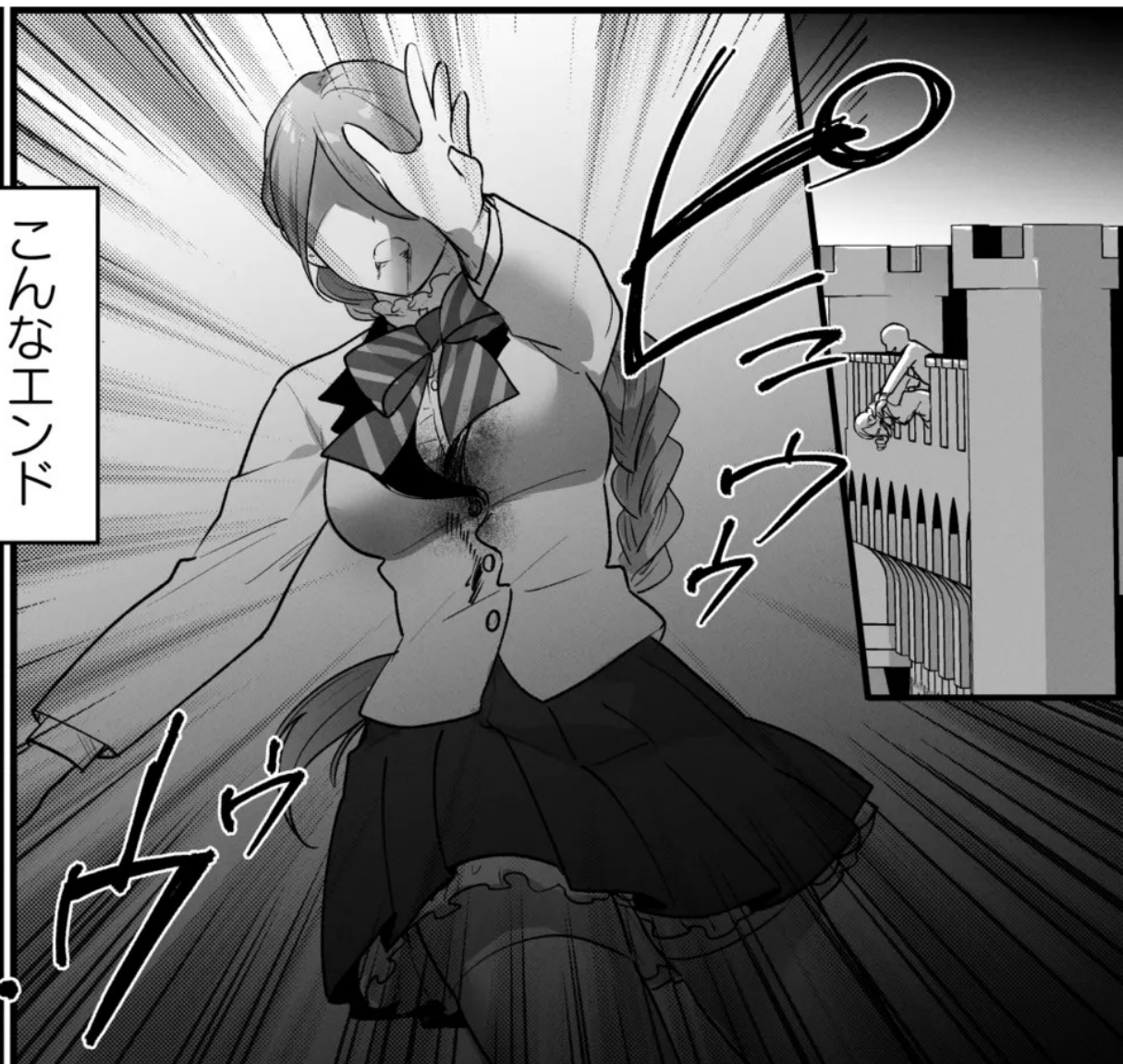



ジュン?...?

な...んで



こんなエンド  
知らない





君が悪いんだ

この声  
どろがでー

また  
やり直さないと

ゲームの住人って  
死んだら  
どうなるんだろう

また  
やり直すのかな？

また初めから？

それは…  
しんどいなあー



起きて  
ください



もうすぐ  
授業が  
始まります



私寝てた？

…あれ？  
夢だったの？

バッドエンドの  
夢なんて  
縁起でもない…



まだ寝ぼけて  
いるんですか

いい加減起きないと  
本当に遅刻しますよ



お嬢様？  
どうしました？  
顔色が悪いですよ

お嬢様？  
シアン  
何言ってるの  
私はお嬢様  
なんかじゃないよ

ごめんなさい  
怖い夢を見ていて…

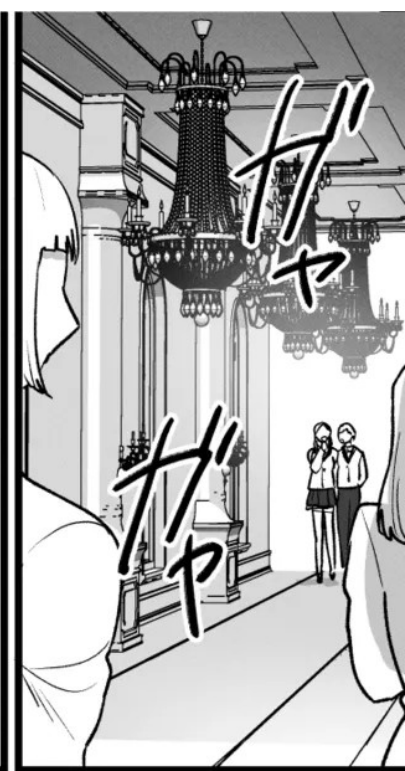
貴女から  
触れてくるなんて

どういう  
心境の変化ですか？

アナスタシア



あれは夢では  
なかったの？  
それともまだ悪夢の  
続きなのかしら



それなのに何故  
アナスタシアとして  
ここにいるの？

シアン、今日は  
何月何日でしたっけ

10月5日です

状況を整理しよう…

ありがとう



学園祭最終日の夜  
私はアナリィとして  
エンディングを迎える  
直前だったはず…



ここは乙女ゲーム  
「名も無きもう一人の姫」  
の世界

主人公アナリィは  
貧しい育ちながら  
魔力が強く

推薦枠で名門私立  
エペスルツ学園  
に入学

攻略対象達と  
愛を育む王道  
シンデレラストーリー

ア  
ナ  
ス  
タ  
シ  
ア  
の  
2  
年  
生  
の  
10  
月  
、  
学  
園  
祭  
最  
終  
日  
退  
場  
は  
そ  
の  
前  
だ  
か  
ら  
…

これが  
夢ではないのなら  
私のエックスデーは  
おそろしく9月のどこか



タイの色からすると  
どうやら今は1年生  
1年近く戻っている  
事になる

エンドは  
いくつかあるけど

死亡エンド  
監禁エンド  
性奴隷エンド  
廃人エンド…

どれもろくな  
ものじゃない

夢ならさっさと  
覚めてほしいけど  
それまでに  
手を打たなきゃ

大丈夫  
まだ時間はある

今日は体調が  
すぐれないので  
帰ります

帰りの手配を  
してください

わかりました

アナリーだった時は  
あんなに優しくかったのに  
目も合わせてくれない

前世ではシアンのことを  
好きになっていたので  
この冷たさは堪えるな

シアン・ファローウ

平民の生まれだが  
剣の腕を買われて  
物心ついた頃から  
アナスタシアに  
仕えている

彼がアナリーに好意を  
抱くようになってから

でも  
選民思想が強い彼女は  
彼を下賤な血として  
ぞんざいに扱っていた

アナスタシアの彼に  
対する態度は更に  
酷くなっていった




アナスタシアだけは  
アナリーの出生に  
気付いていたから


自分を嫌う彼が  
妹に惹かれていくのが  
面白くなかったんだろう



シアンはアナスタシアを  
裏切ってアナリーの  
元へと行ってしまっ



唯一私に勝機が  
あるとしたら  
彼を味方にする事  
だけ



好かれるわけ…  
ないよね

今からの挽回は…  
難しいかな…



帰りの手配は  
しました  
校門まで送ります



以前は  
もっと朗らかなに  
笑っていた...



感情がない  
機械みたいな  
表情



不器用だけど  
優しいシアン



どうせアナスタシアに  
なるならもっと前から  
彼と出会った時から  
始めたかった

私なら彼にあんな  
仕打ちしないのに

私なら

アナスタシア？

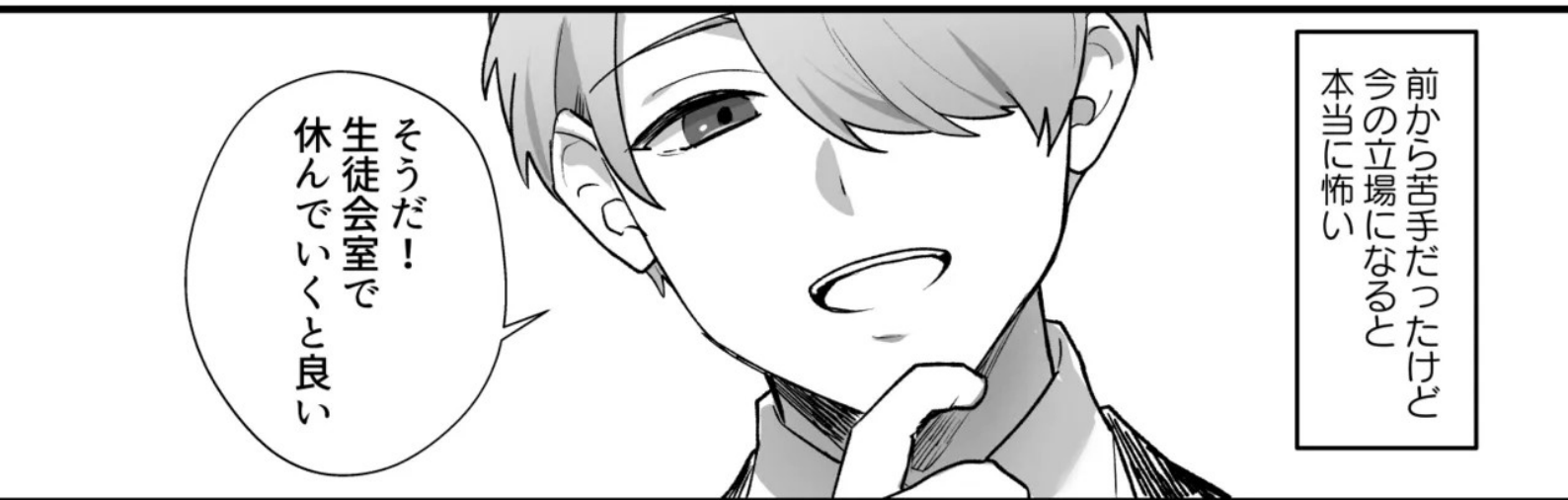
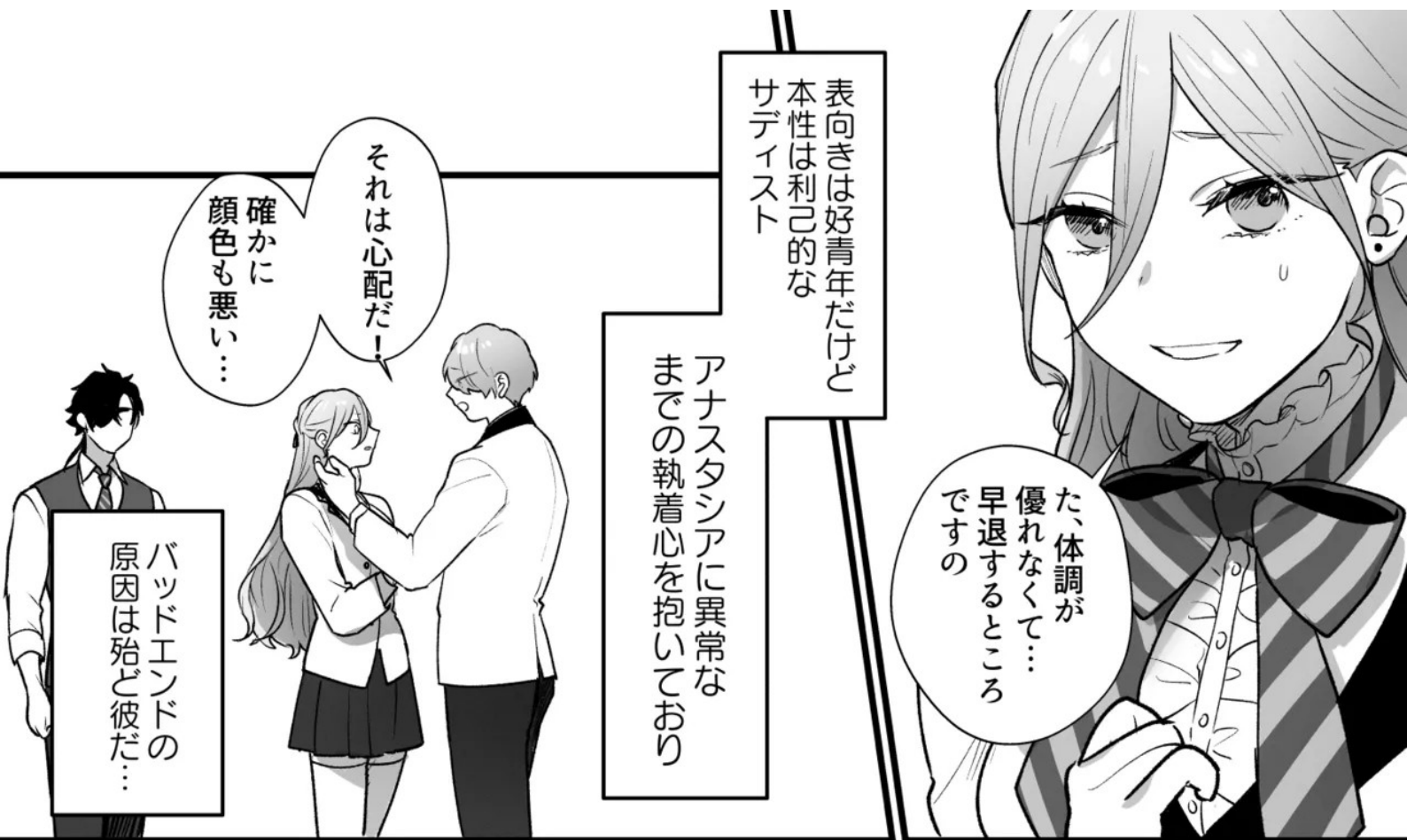
うわっ

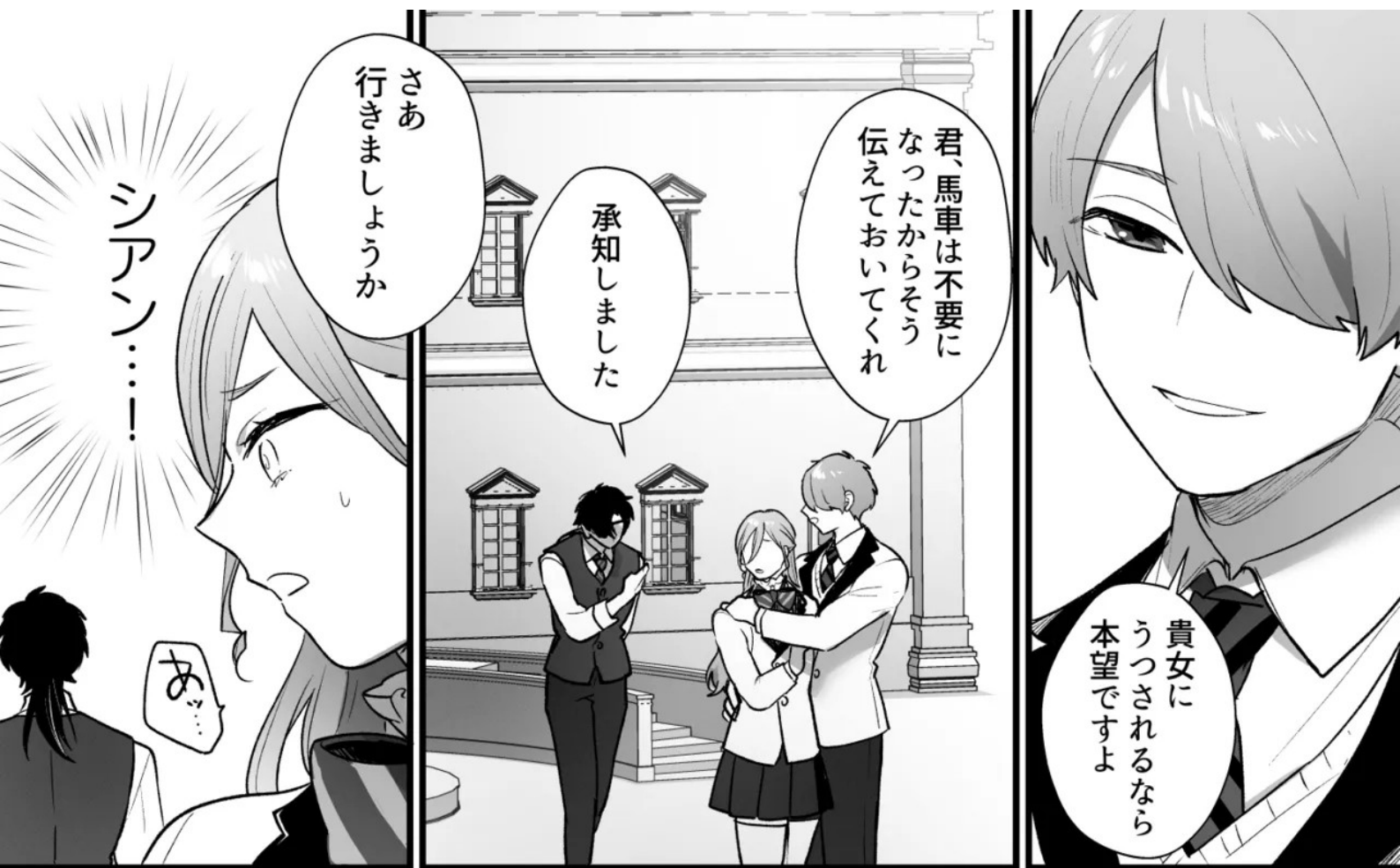
セシル様……！

腹黒王子ツツ！！

どうしたんだい？  
次は魔法薬学だろう？

セシル・ラウド  
アナスタシアの  
婚約者で第三王子  
現生徒会長





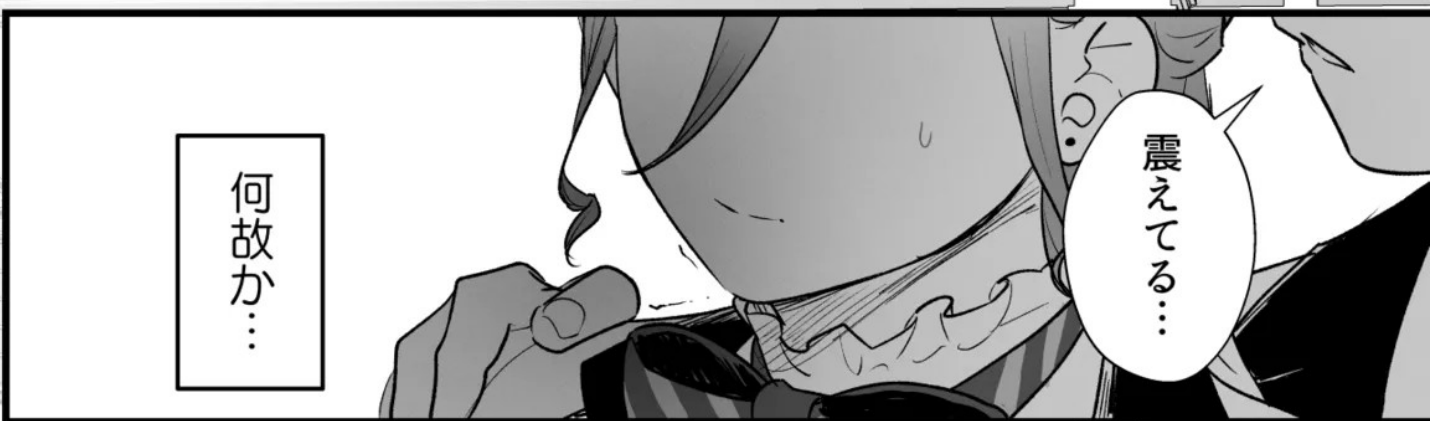
君、馬車は不要になつたからそう伝えておいてくれ

承知しました

さあ行きましようか

シアン……!

貴女にうつつされるなら本望ですよ



震えてる……

何故か……



風邪かもしれませんか

中に入って暖まらましよう

この王子の言葉には逆らえない



蜂蜜湯です  
暖まりますよ

あ  
ありがとう…



絶対嘘だ  
何を企んでいるの？

…僕も少し  
強引でしたね

ここ最近貴女と二人で  
過ごすことが  
なかったのが  
寂しかったのです



帰りたいたい……

でもやはり体調の  
悪い人と一緒に  
居るべきでは  
ありませんわ

アナスタシア

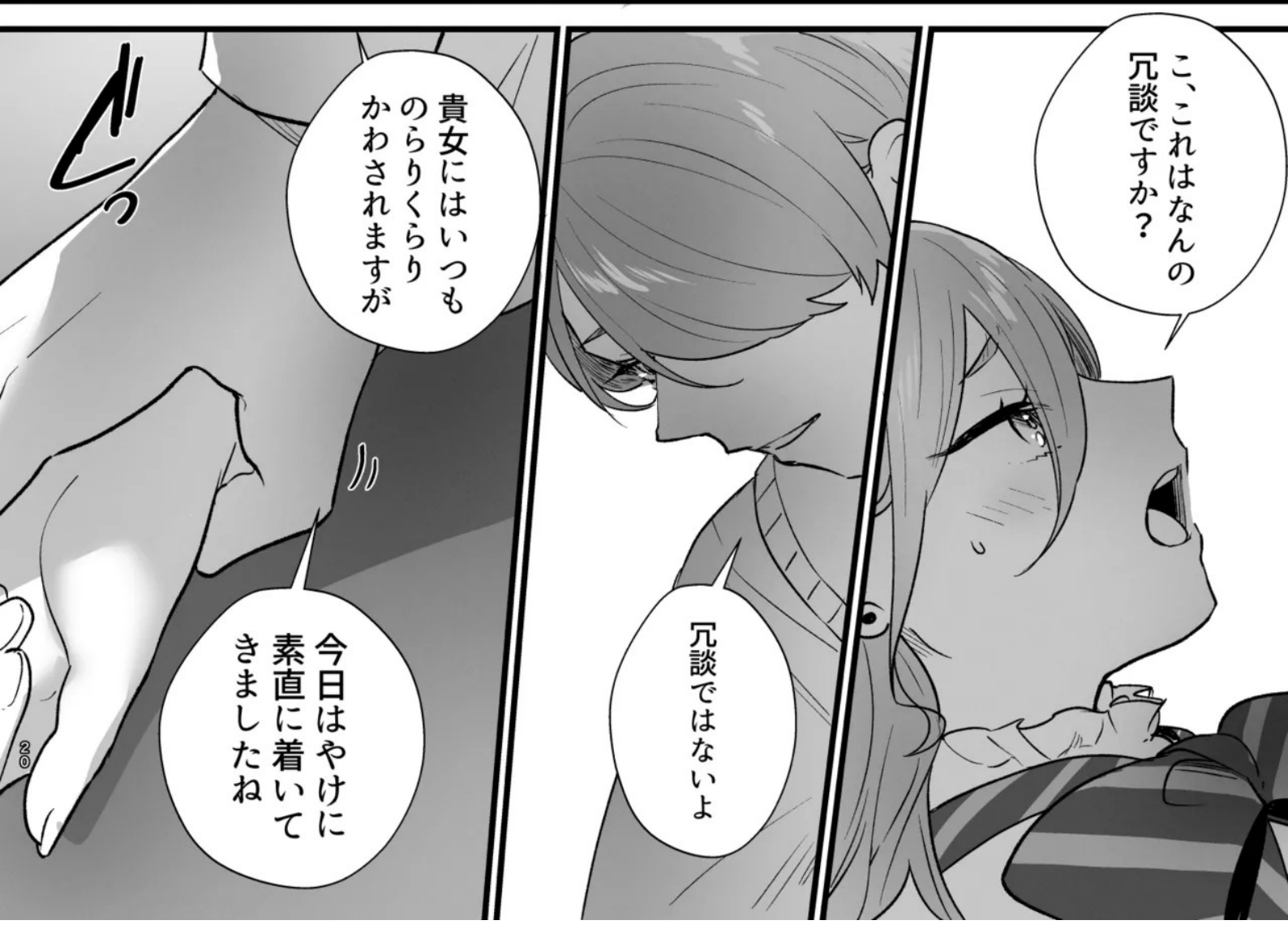
君は本当に美しい  
幼い頃より僕の心を  
掴んで離さない

君が  
婚約者になった  
ときは本当に  
嬉しかった

セシル様……？

誰よりも気高く  
凛とした君を僕は……

もう  
我慢の限界だ



こ、これはなんの  
冗談ですか？

冗談ではないよ

貴女にはいつも  
のらりくらり  
かわされませんが

今日はやけに  
素直に着いて  
きましたね





あまーい...

蜂蜜のように  
あまーい...ね

あま...

ひび

それって...

最近社交界で  
流行りの妙薬が  
あるのですよ



ズン

ズン

カ

それを口にするとう  
身体が高揚して

触れられただけで  
この世のものとも  
思えぬ快感を  
得られるらしいですよ

ズン



もう下着が  
びしょ濡れ  
ですよ

でも今なら全部  
薬のせいで  
できますから

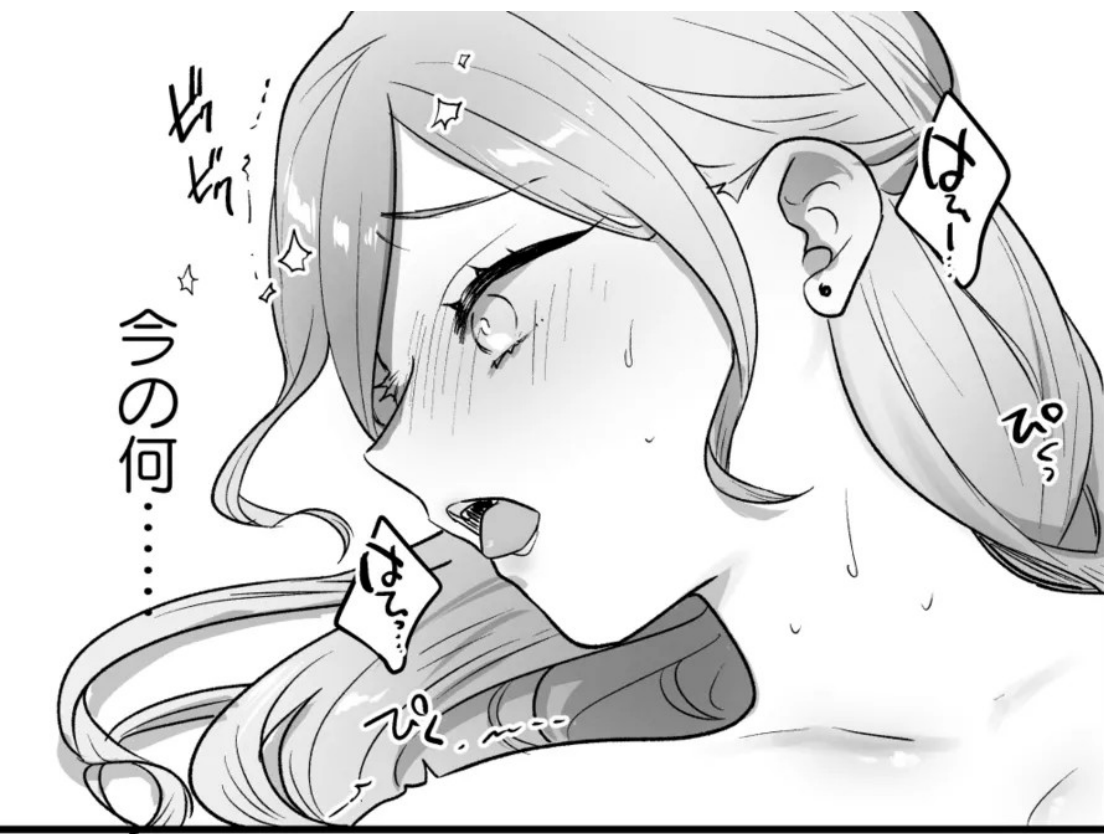
アナスタシアは  
いやらしいですね

存分に快感を  
貪ってください

軽くイきましたね

まだ指を入れた  
だけなのにすごいな...



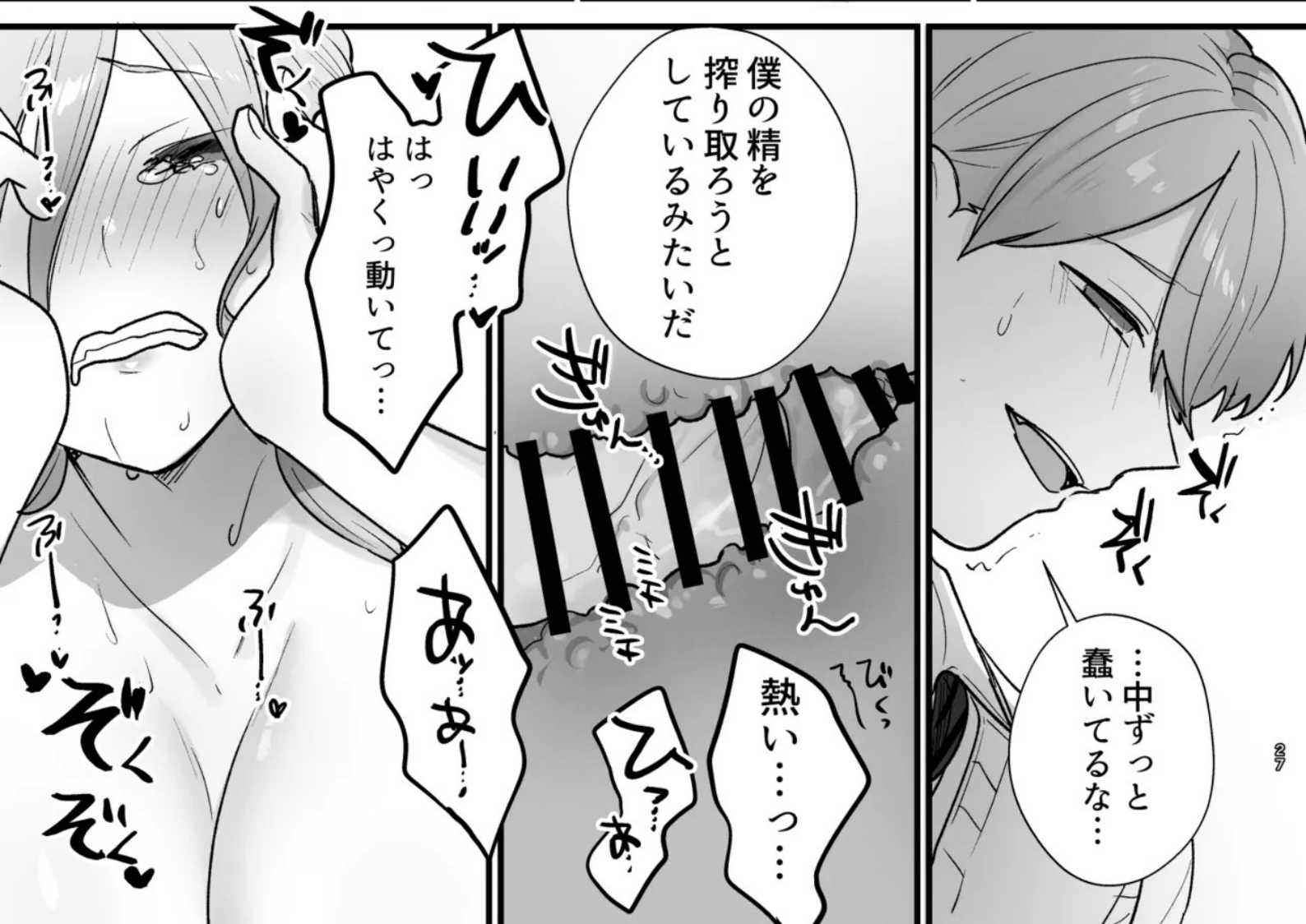


だめっ!  
それは.....!

まだ  
終わりませんよ

でもこれでおしまい  
終わっ...

カキカキ



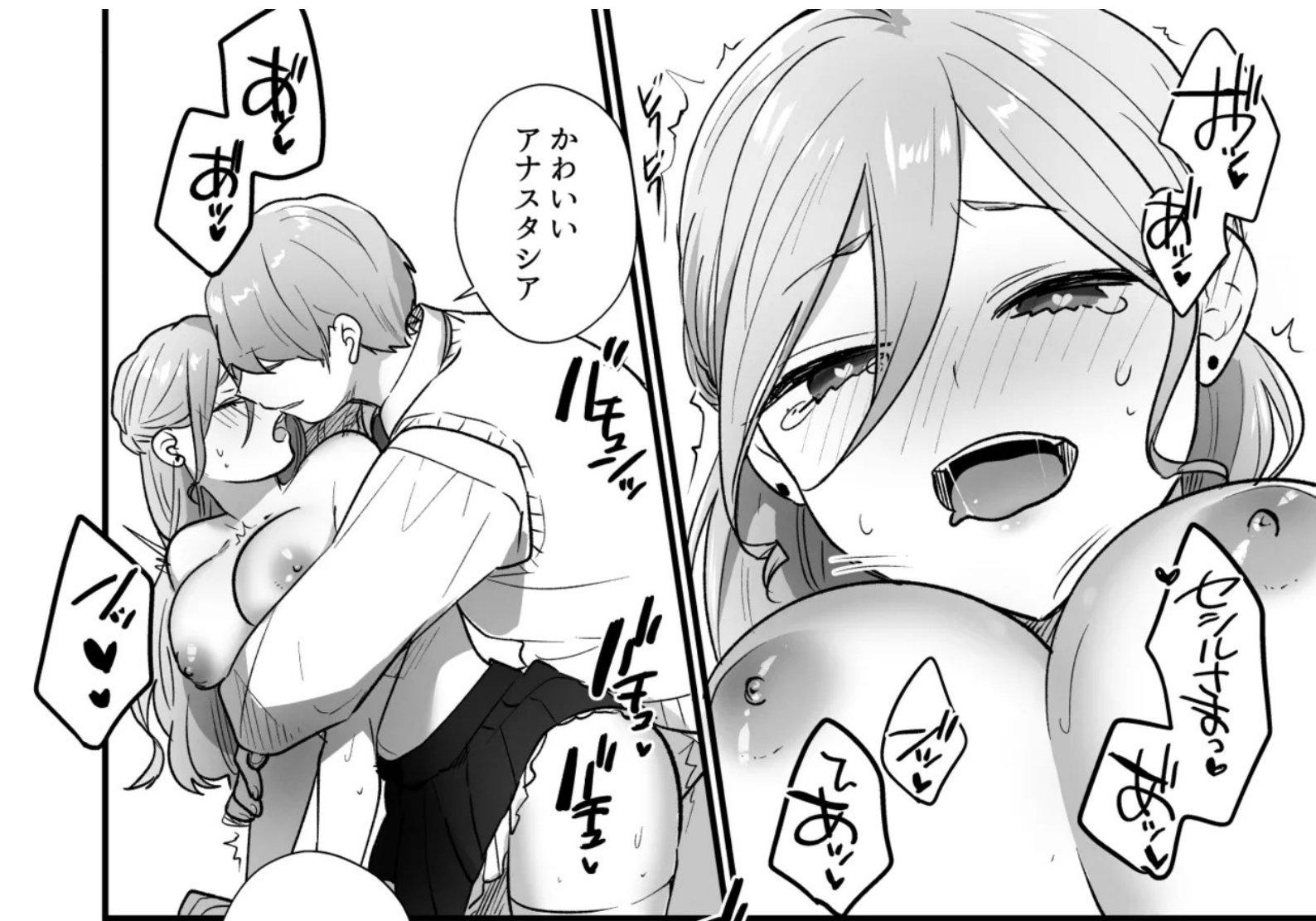
おや…  
もつと抵抗された  
ほうが僕好み  
なんです

薬の  
効能もあるし  
仕方ないか…

ならお望み通り  
何回でも  
イかせてあげますよ

あつ…♡  
そこすき♡  
セシルさまあ…





もう  
いきそうだ





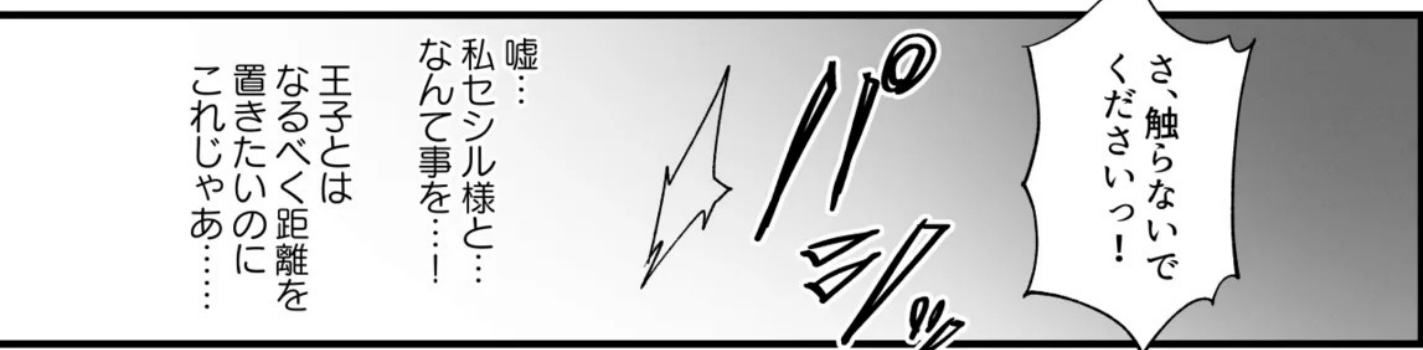
今死ねたら  
どんなに  
幸せだろう



目が覚め  
ましたか？



が  
お



さ、触らないで  
くださいっ！

嘘…  
私セシル様と…  
なんて事を…！

王子とは  
なるべく距離を  
置きたいのに  
これじゃあ…



失礼します

バグーン！

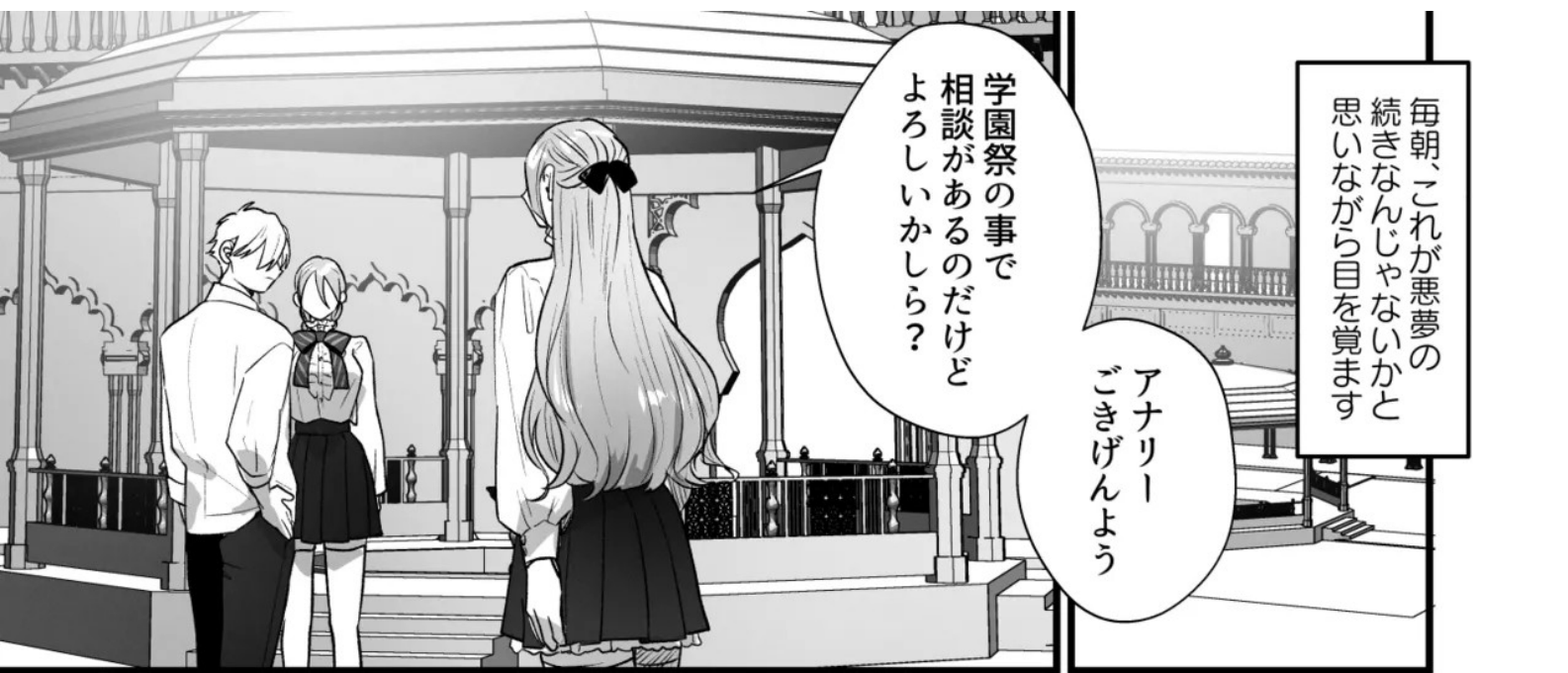
僕から  
逃れられると  
思わないで  
くださいね



婚前交渉…

しかも薬を使う  
なんて卑劣な手！  
あれは私では  
ありません！

もう顔も見たく  
ないです！



毎朝、これが悪夢の  
続きなんじゃないかと  
思いながら目を覚ます

学園祭の事で  
相談があるのだけど  
よろしいかしら？

アナリー  
ごきげんよう



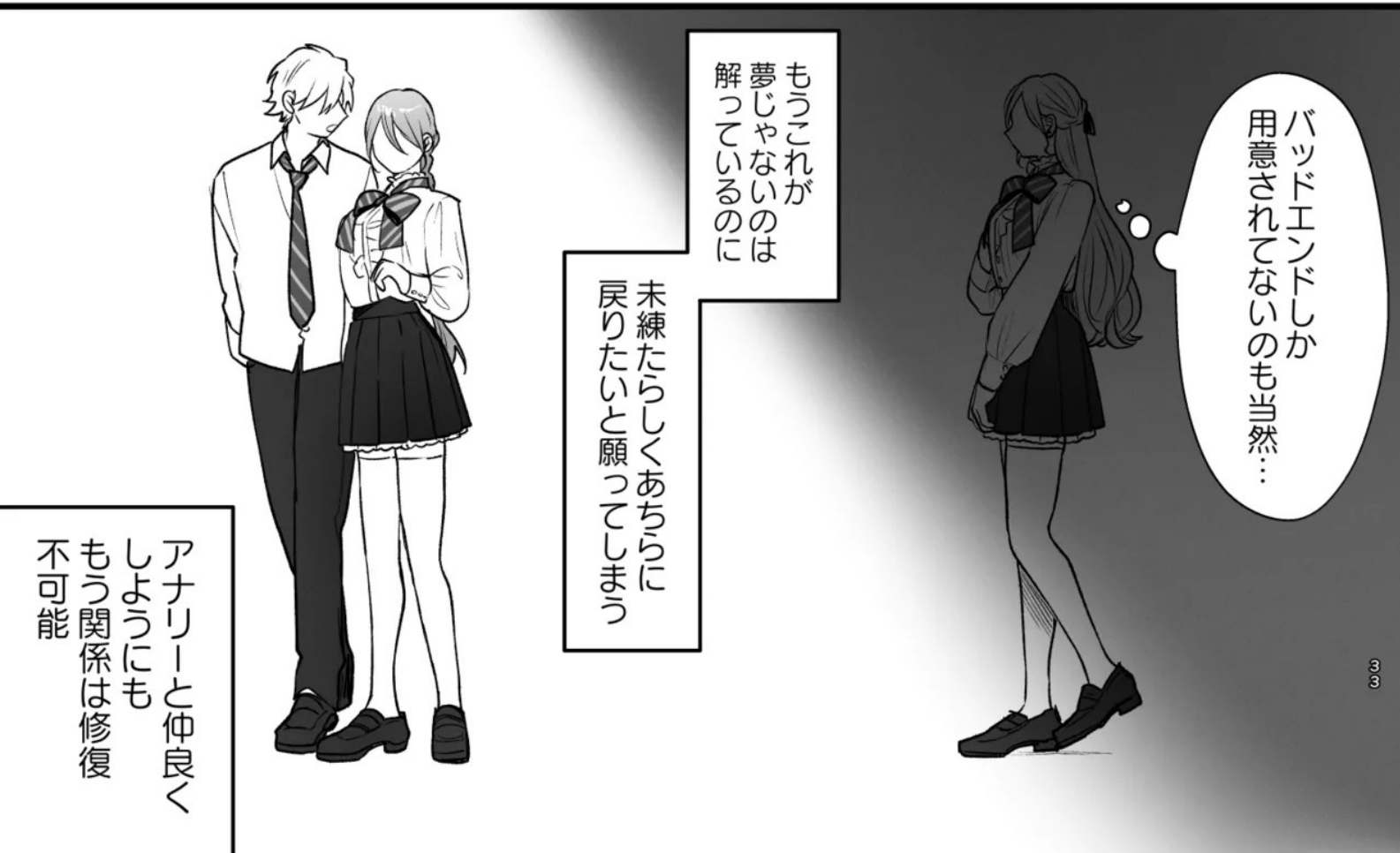
アナスタシア  
ごめんなさい

私嫌われてるなあ  
まあ、アナスタシアに  
好かれる要素ないもんね



お前またこいつに  
嫌がらせしに  
きたのか？

ちよつと…！



バッドエンドしか  
用意されてないのも当然…

もうこれが  
夢じゃないのは  
解っているのに

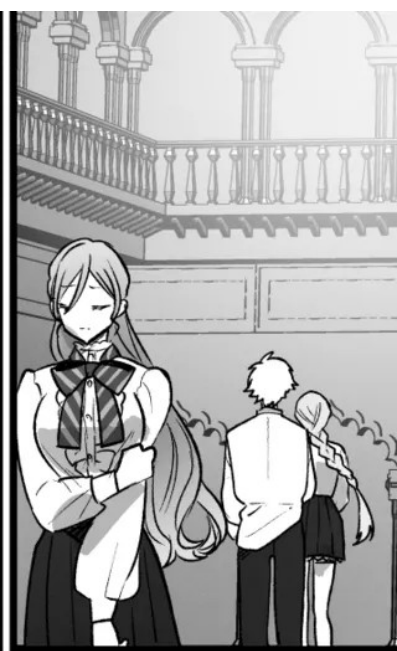
未練たらしくあちらに  
戻りたいと願ってしまう

アナリーと仲良く  
しようにも  
もう関係は修復  
不可能



何、虫の声に耳を  
傾けることは  
ありません

心を痛める  
だけ無駄です



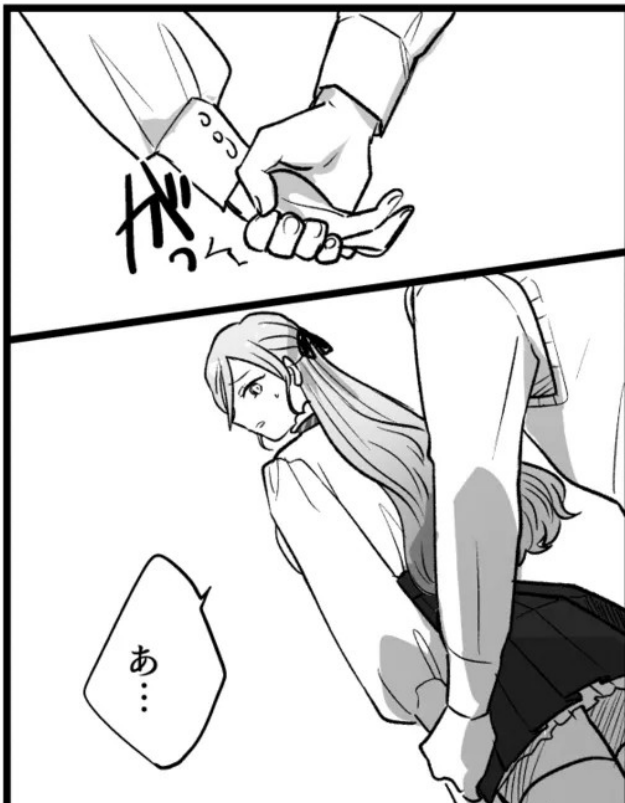
それとも  
貴女とも  
あろう人が

あんな下民共と  
お戯れになりたい  
のですか？

貴女には僕が  
いるのですから  
良いでは  
ないですか

王子と会わない  
ようにしても

私の行き先を  
知ってるみたいに  
いつも先回りされる



あ…



セシル様と  
仲直りした覚えは  
ありませんが

僕は喧嘩した  
覚えがありません

最近の貴女は  
隙だらけで  
拍子抜けする程です

だから  
次王子と会ったら  
全力で逃げて  
やろうと思ってた

僕も学園祭の事で  
相談があったの  
ですよ

僕から  
逃げられると  
本気で  
思いましたか？

でも

生徒会室に  
行きましようか

実際にこの人を  
前にすると

逃げられない

んっ…  
んっ…  
んっ…!!

以前の乱れた姿は  
薬のせい  
で  
本来の貴女ではないと  
言いましたよね





退屈じゃ  
なくなつた  
みたいですね



それは  
大変失礼した  
あーあっ!!!



た、退屈なので…  
は、早く終わらないかと  
思っています

何か言い  
たそうですね

絶対にわざとだ



いきたいですか？

違います！  
早く終わって  
欲しいんです



いかせてくれない…  
いきたい…



気持ちいいけど…  
いいけど…

王子の興味を  
私から逸らさないと  
いけないのに――

なら貴女が僕を  
満足させてください

そもそも王子の  
距離感が  
おかしいんだ

そうしたら  
解放してあげます

そんな……

本来の  
ゲームの世界でも  
確かにセシルは  
アナスタシアに  
執着していたけど

ここまでの  
異常性は  
なかったはず

ここはもう  
私の知ってるゲームとは  
別物なのかもしれない

そんな腰使いでは  
いつまで経っても  
終わりませんよ





せっかく来て  
くれたんですから  
相談に乗って  
あげないと



な、なんで…  
出直してもらって  
くださいよ



それで  
相談って？

もしかして誰か  
いらつしやいますか？  
なら出直しますが…

いえ  
独り言です

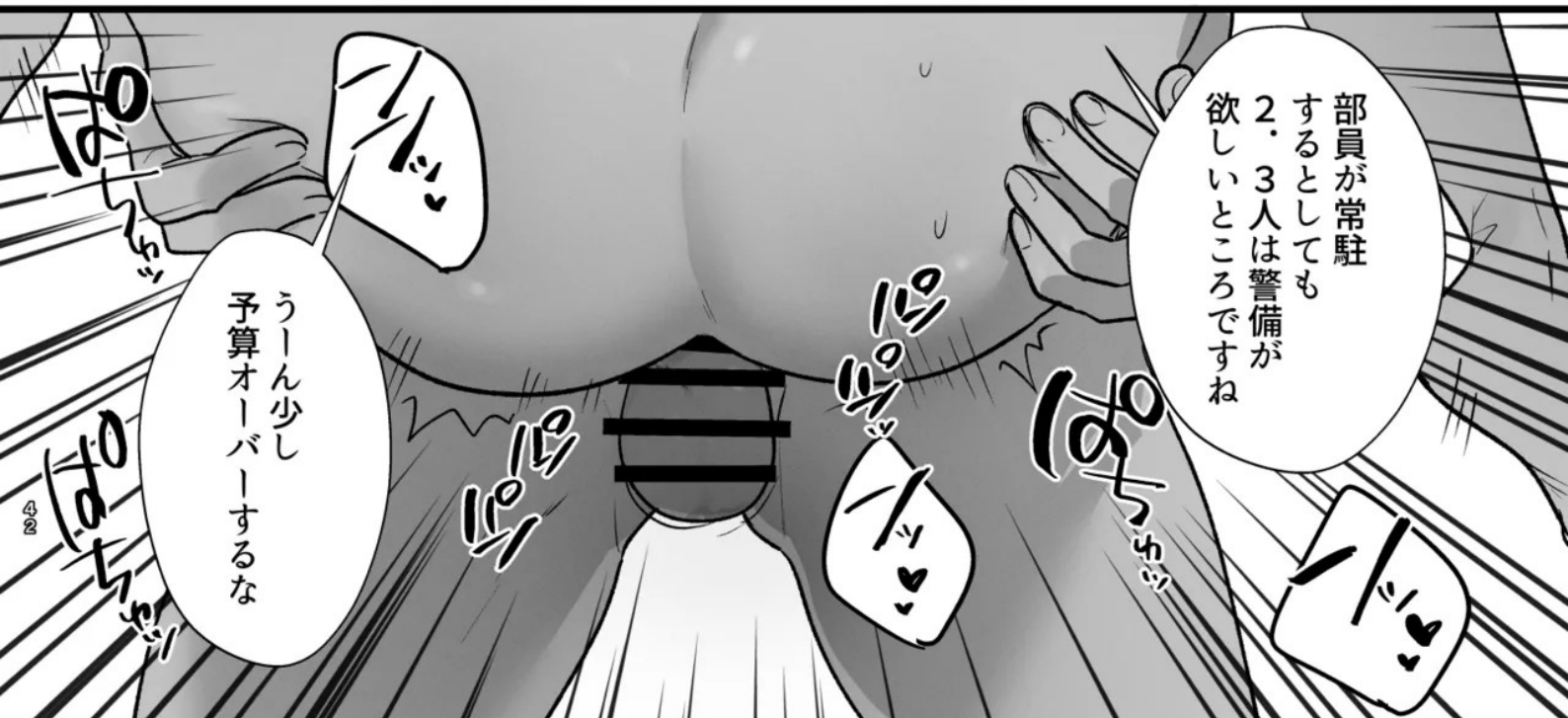
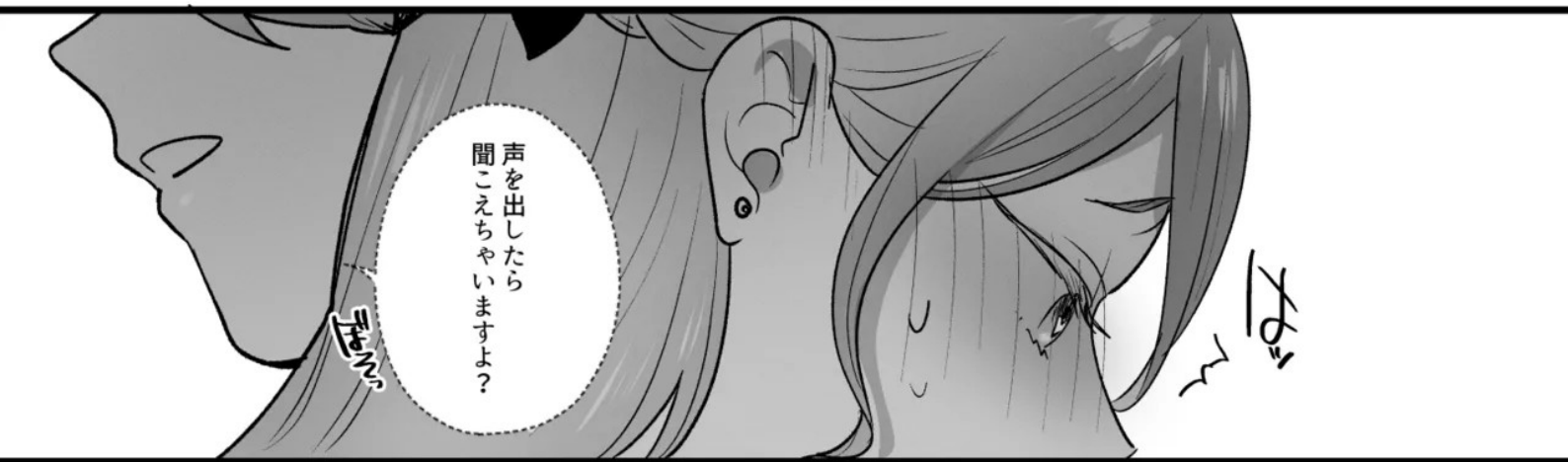


はい、美術部の  
申請書類をチェック  
してたんですが

展示に本物の  
宝石を使用したい  
らしく…

信じられない!







いえ、彼らの芸術に  
対する熱意は本物  
ですから



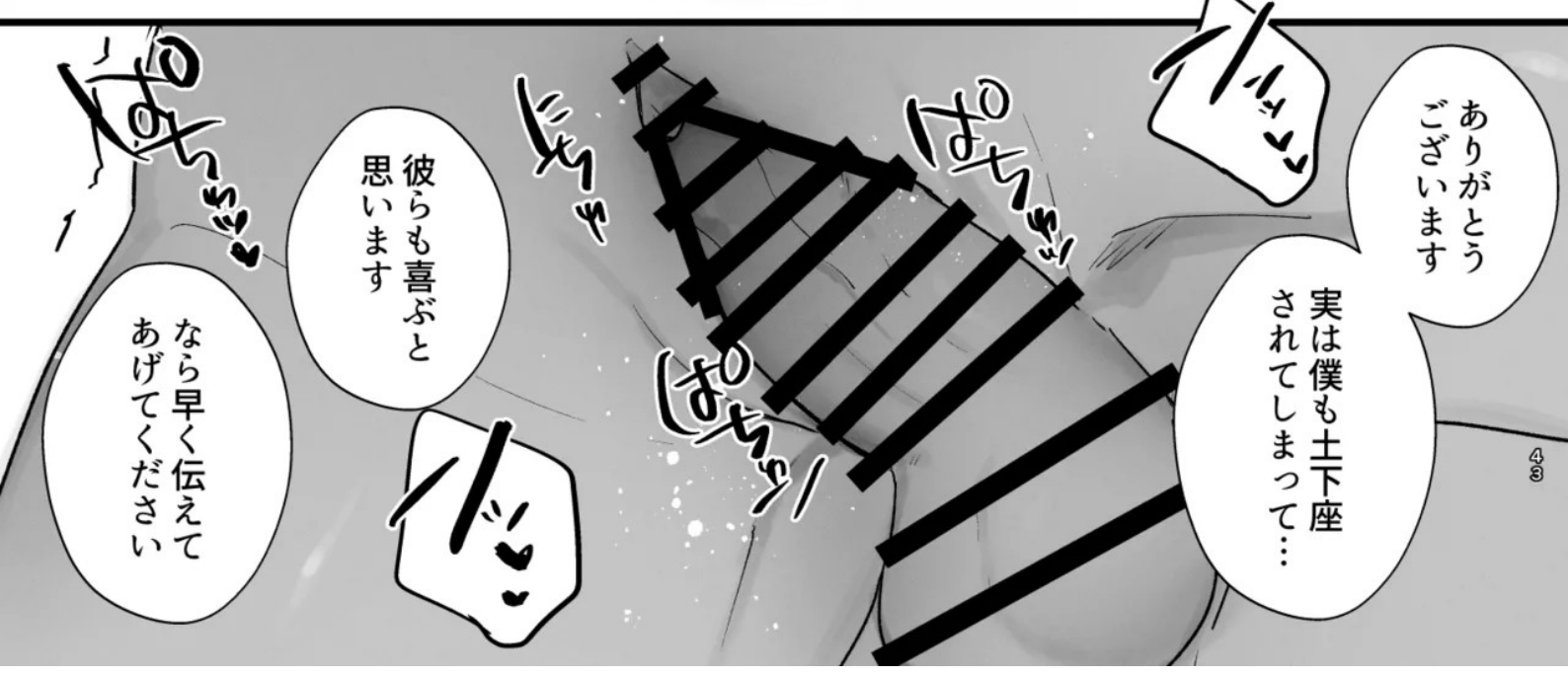
なるべく意向に  
沿ってあげたいん  
ですよね

調整してみます



早く  
終わって…!

そうですね…  
やはり難しいですか？



ありがとう  
ございます

実は僕も土下座  
されてしまつて…

彼らも喜ぶと  
思います

なら早く伝えて  
あげてください





こんなこと  
されたら  
とうぜ…

僕から逃げたいん  
でしよう？



貴女が何を考えて  
いるかわかりますよ



すぐに  
僕なしじゃ  
いられなく  
してあげます

身体は嘘を吐けない  
みたいですよ

心はまだでも  
身体はすぐに  
懐柔できる

あッ…!!!

さっきの子も  
まさか扉の向こうで  
貴女がいやらしく  
よがり狂ってるとは  
思わないだろうな

ピッ

この顔を  
見せるのは  
貴女だけですよ

本当はこんな早く  
見せるつもり  
ありません  
でしたけどね

あーっ

みんなに、貴方の  
本性をバラして  
やりたい…  
みんな騙されてるわ

一生隠して  
おいて…  
んっ、くださ…

ピッ

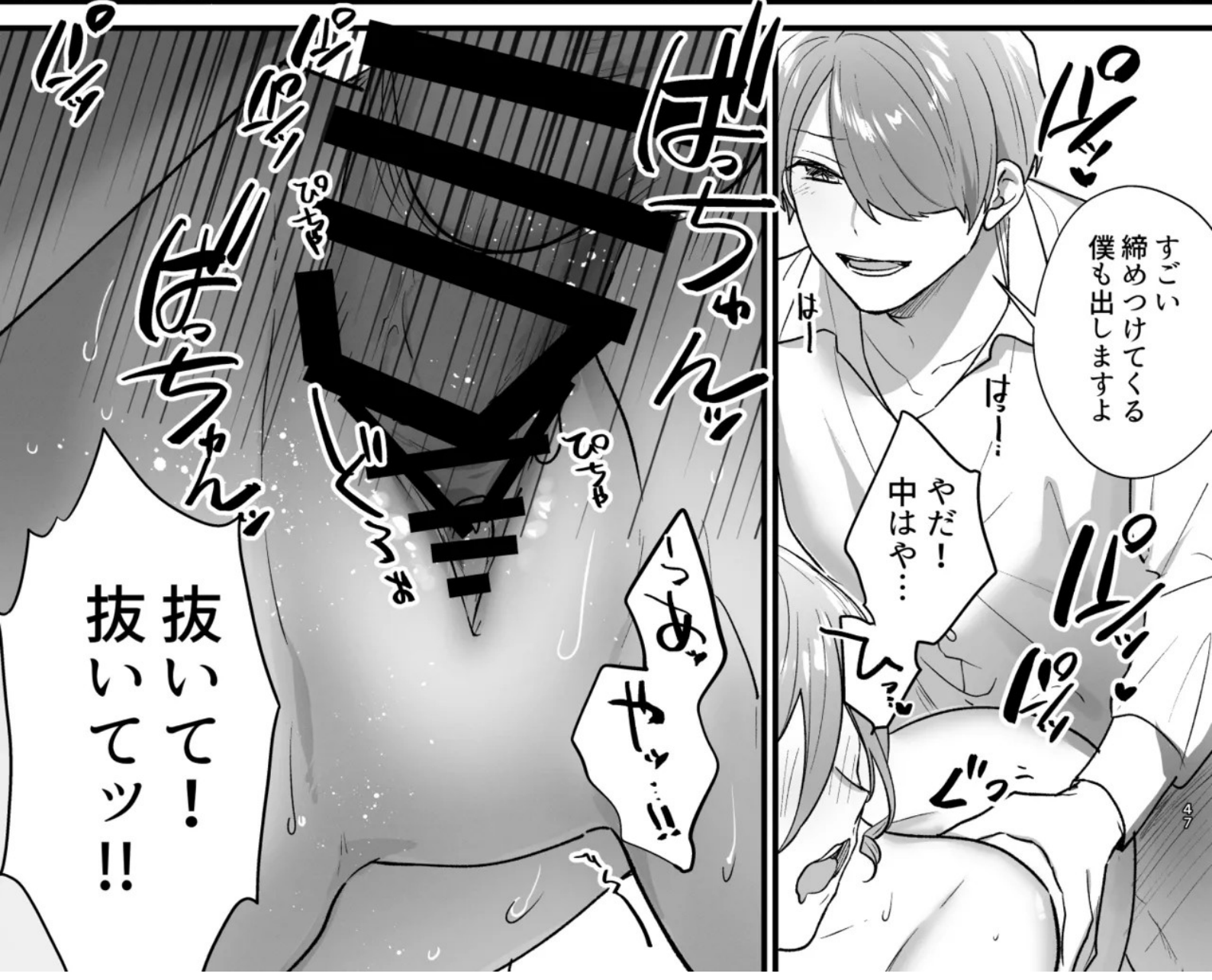
あーっ

ピッ



だめ  
いっちゃん…





すごい  
締めつけてくる  
僕も出しますよ

はー…  
やだ!  
中はや…

抜いてッ!!  
抜いて!!



もしも妊娠したら  
拳式を早めれば良い

僕としてはその方が  
貴女との絆が深まるので  
嬉しいですけどね

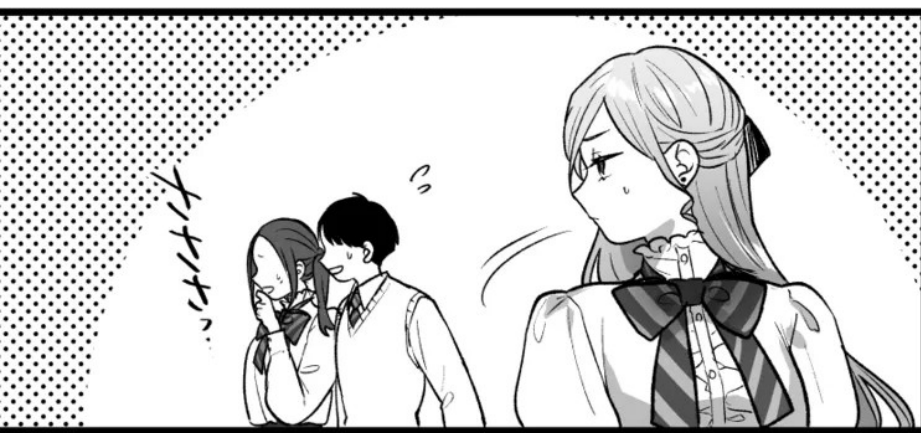
私はこの人から  
逃げられるん  
だろうか



疲れる…

アナリールトが  
いかに温かったか  
わかったわ…

こんなこと  
されたら  
とうぜ…



また仮病で  
早退ですか

失礼な…

今日は学園祭の  
買い物です



本気なの！  
私の生死が  
掛かってるん  
だから！



頭でも  
打ちましたか？

シアン、私  
どうすれば人に  
好かれるかしら



あっ…なんか  
めちやくちや  
怪しまれてる…!?

さすがに  
あからさま  
すぎた!?



言っている意味が  
わかりませんが  
それを俺に相談する  
時点で気味が悪いです



もうそんな  
子供っぽい事は  
しませんよ  
本気ですから

不気味だ…



本当に熱でも  
ありますか？

いつもなら  
俺がこんな事  
言ったら怒り  
狂うでしょうに

失礼な!



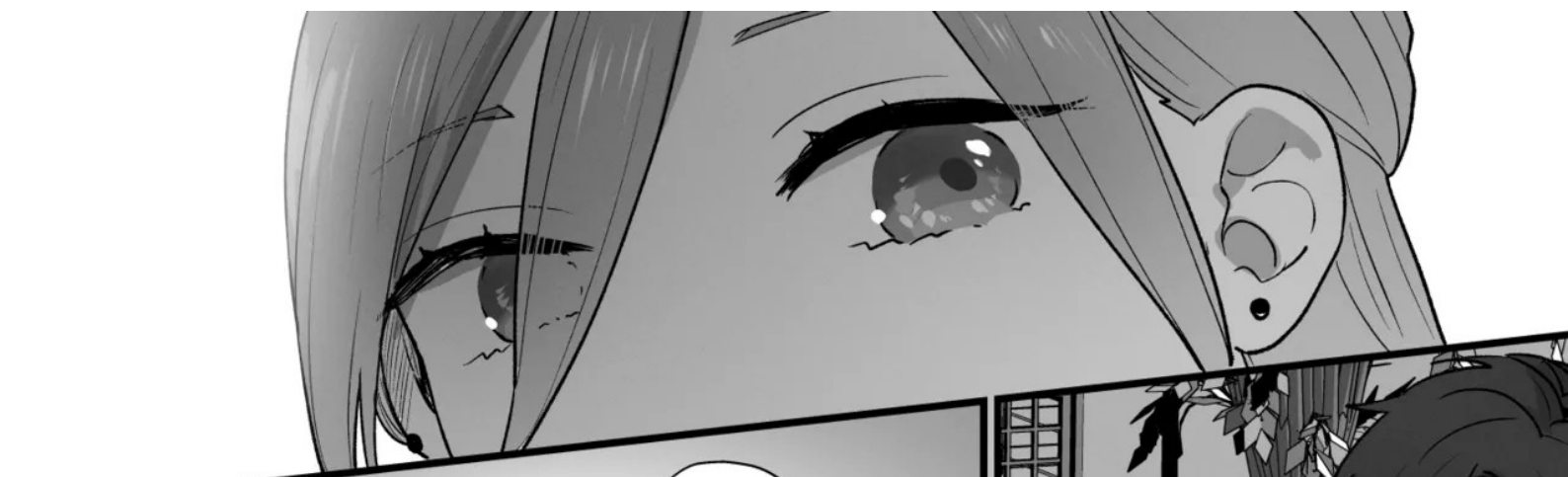
こんな所に  
居たんですか

シアンの裏切りも  
バッドエンドに  
繋がるから

彼との関係も  
良好にして  
おきたいけど…







でもシアン  
綺麗な花よ

雑草ですよ



寄り道してて  
いいんですか？



綺麗なんだから  
雑草だって  
いいじゃない

部屋にでも  
飾ろうかしら





最近あなたと  
話していると

過去にも同じ  
やりとりをした  
気がして…

妙な既視感が  
あるんです



シアン？  
どうかした？



え？

いえ…  
やっぱり気のせい  
ですね  
忘れてください



そうだ…  
これは本当なら  
シアンと  
アナリーの会話

二人が急接近  
したきっかけ  
でもあった

そしてその花を  
アナスタシアが  
踏み躪るんだ

それがシアンと  
アナスタシアの  
亀裂の決定打  
だったんだけど…



そういえば  
この花…



それに、シアンって  
アナスタシアにこんな顔  
向ける人だっけ？

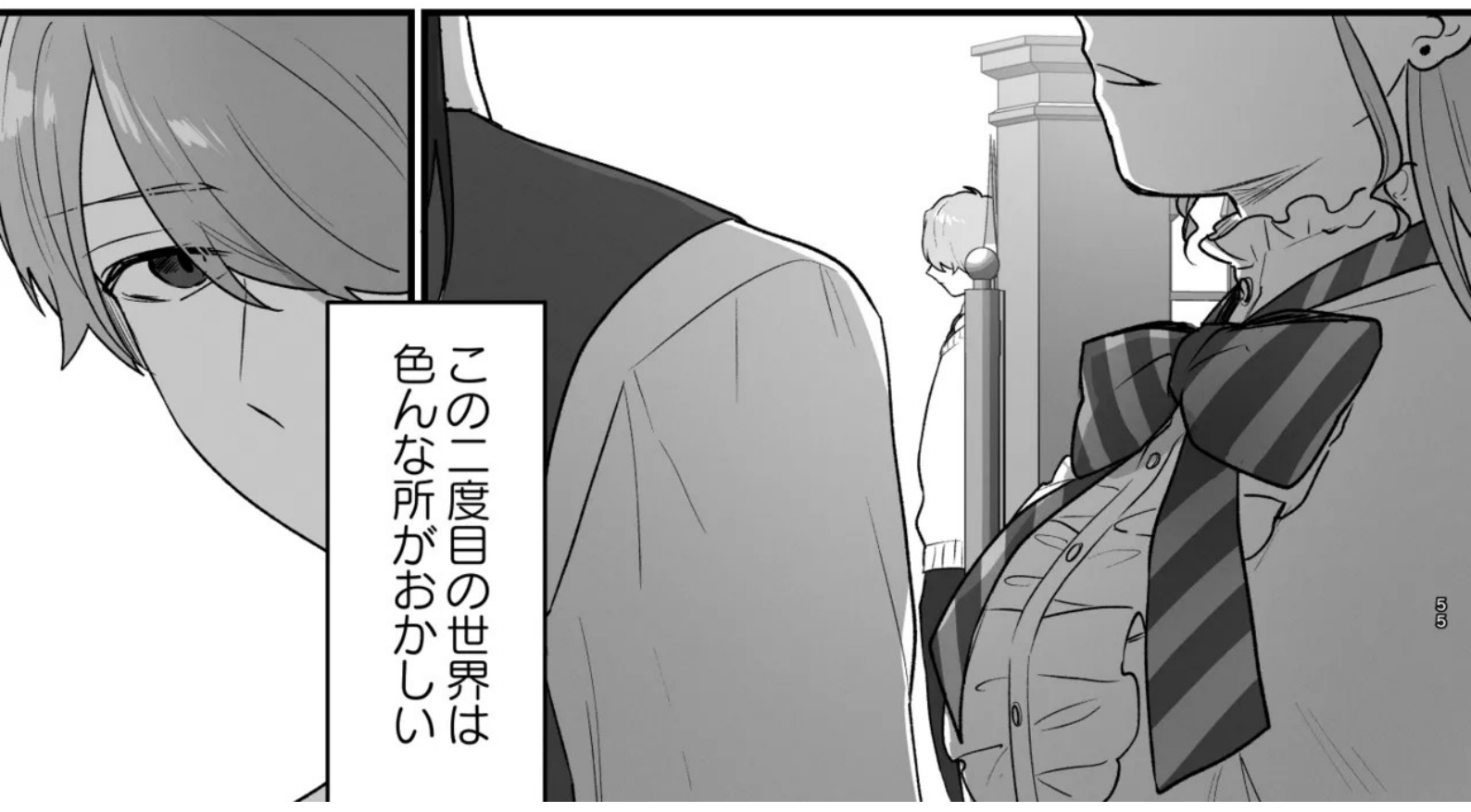


いけない

私がこんなことすると  
訳わからない世界が  
更にごちゃごちゃに  
なっちゃう



でも、私はともかく  
なんでシアンが  
このやりとりを  
覚えてるんだろう



この二度目の世界は  
色んな所がおかしい



ここまで読んでいただきありがとうございました。

今回は主人公と王子がメインでした。  
主人公が2度目の転生をした理由やシアンとの関係の進展など  
まだ描きたいものが色々あるので  
また続きを出せたら良いなと思っています。

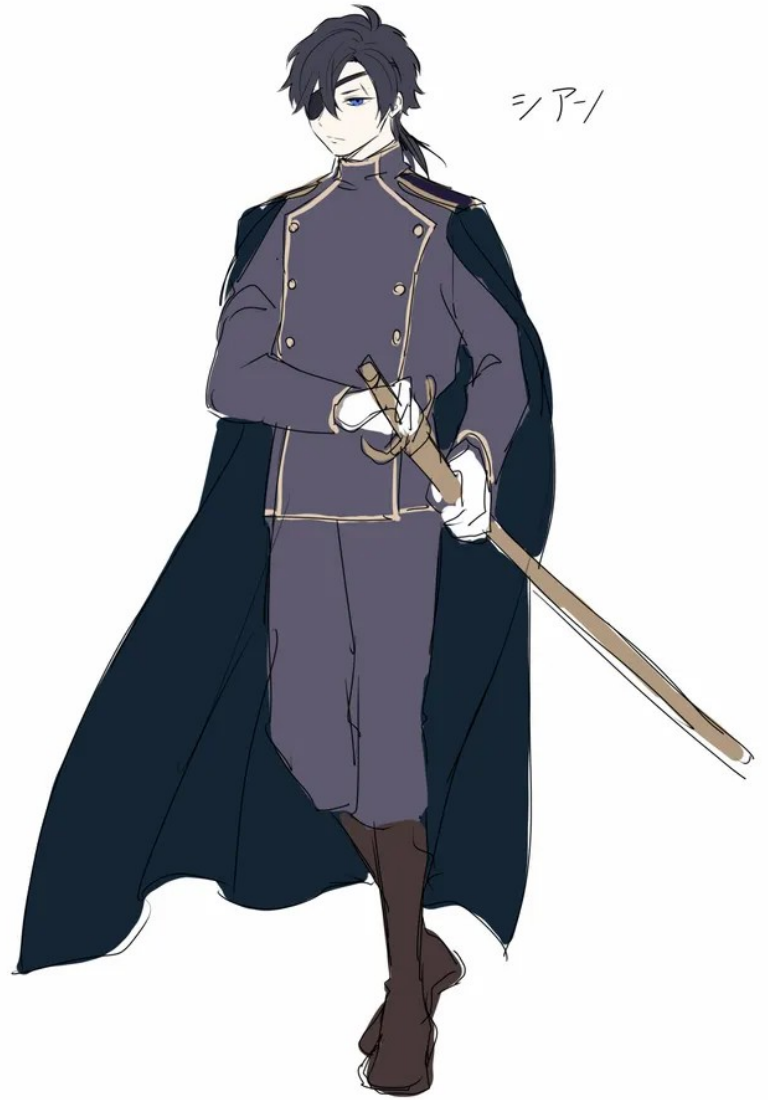
takanagohan/高菜しお  
PIXIV : 73809908  
Twitter : @tak\_a\_shi\_o

2022/07

アステア



シア



セシル



アトリー





生き別れの双子

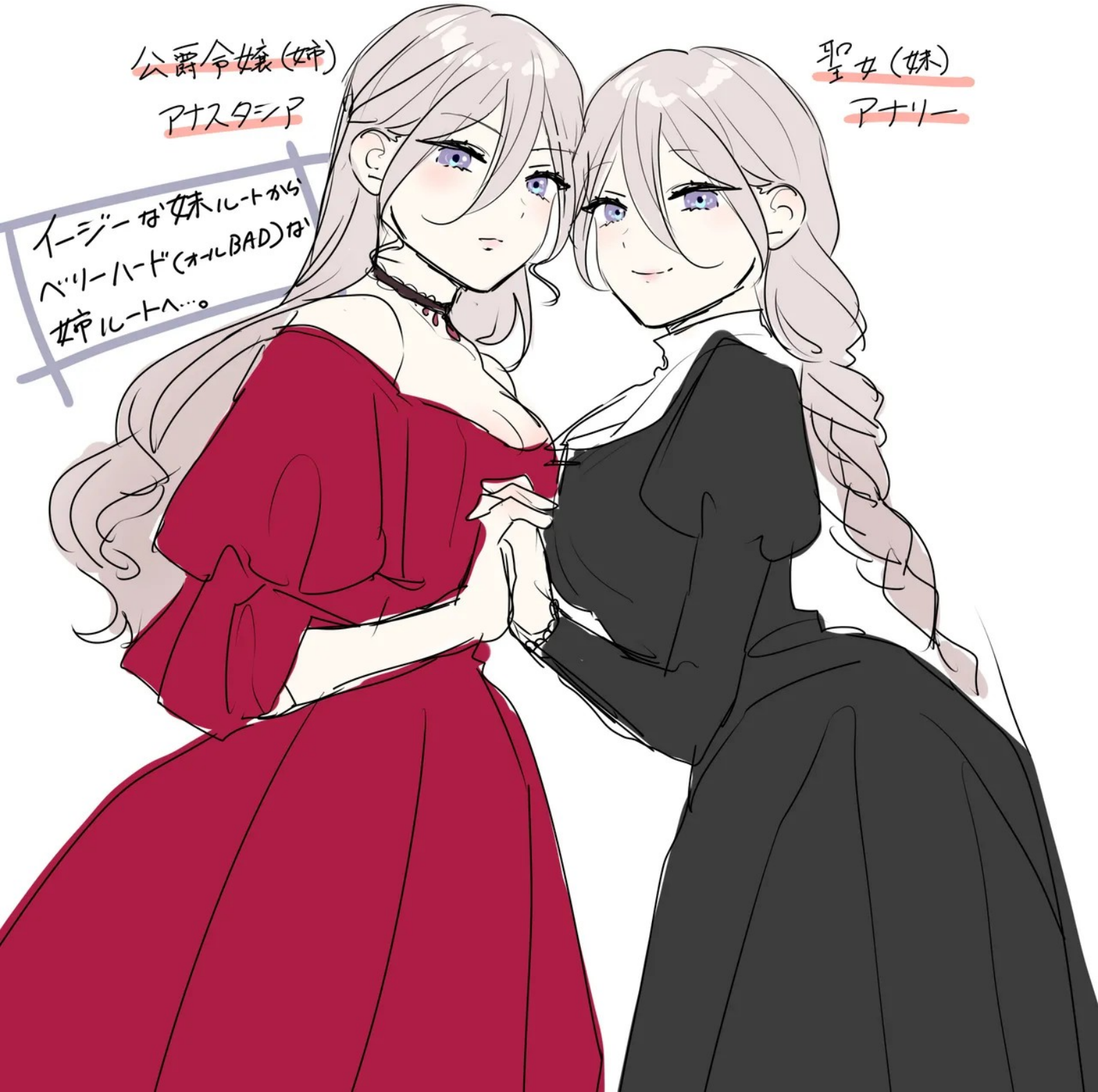
公爵令嬢(姉)

アスタリア

聖女(妹)

アナリー

イメージが妹ルトから  
ベリーハード(オールドBAD)な  
姉ルトへ...





終幕直前に  
聖女が悪役令嬢の  
復讐の転生を果たした

別れの双きなの  
時は一人

現婚アセ

腹黒王子  
それを口にする  
身体が高揚して

触れられたい  
と思える性感を  
得られるらしいです



